

平成27年度富士見市下水道事業会計予算（概要）

1 予算概要

(1) 予算編成概要

下水道の取り巻く状況は、人口増加の鈍化や高齢化社会、生活様式の多様化やエコ指向の向上から節水型機器類が普及するなど、下水道収益が伸び悩んでいる。

公共下水道の整備は、平成22年度に市街化に編入された水子地区及び南畑地区について、引続き計画的に整備促進を図る。

また、別所雨水ポンプ施設、尺地堀水路及び別所堀水路の雨水幹線について、計画的に更新、整備を図る。

今後も市民生活の安心・安全のため、都市環境の改善を図り、都市の健全な発展と公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資するため、計画的に整備を進めるとともに、維持管理に努め、経費の削減はもとより、健全で効率的な経営を推進するための予算を編成した。

(2) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は、前年度比0.9%減の18億2,531万6千円、支出は、前年度比3.34%増の15億9,990万3千円で、収支差引で2億2,541万3千円の黒字となっている。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は、前年度比38.28%増の15億8,420万6千円、支出は、前年度比18.75%増の22億6,471万1千円となり、収支差引では6億8,050万5千円の赤字が見込まれる。

(3) 財源不足額

第4条予算の赤字分については、損益勘定留保資金等で補填する。

2 予算（収入）の主な特徴

(1) 3条予算（収益的収入）

○ 営業収益

下水道使用料は、人口増加の鈍化や生活様式の多様化、エコ指向の向上から節水型機器類が普及するなどにより、収益が伸び悩んでいるが、ららぽーと富士見の開業により見込まれる収益を加算し、前年度比1.27%増の9億7,766万6千円となる。

他会計負担金は、主に一般会計からの繰入金として、前年度比2.63%増の3億2,276万1千円とした。

○ 営業外収益

他会計補助金は、前年度同額の2億8,000万円とした。

長期前受金戻入は、2億2,500万5千円とした。

雑収益は177万6千円とした。

消費税及び地方消費税還付金は、見込額として1,792万円とした。

(2) 4条予算（資本的収入）

企業債は、前年度比35.33%増の9億2,080万円とした。

国庫(県)補助金は、前年度比34.83%増の3億9,640万円とした。

負担金は、受益者負担金と一般会計からの繰入金として、前年度比55.89%増の2億6,700万6千円とした。

3 予算（支出）の主な特徴

(1) 3条予算（収益的支出）

○ 営業費用

①管渠費は、管渠の維持管理に要する経費で、主に委託料、修繕費、工事請負費、負担金等で前年度比2.39%増の5億2,037万6千円とした。

【主な支出】

- ・荒川右岸流域下水道維持管理負担金 4億106万8千円
- ・維持管理・監視業務・保守点検等業務委託 4,110万5千円
- ・人孔蓋取替工事等 3,143万円

②業務費は、使用料徴収業務等に要する経費で、前年度比4%増の4,900万5千円とした。

【主な支出】

- ・下水道使用料徴収事務委託費 3,940万5千円

③総係費は、前年度比18.57%減の3,124万9千円とした。

【主な支出】

- ・貸倒引当金繰入額 462万5千円とした。

④減価償却費は、構築物、車両運搬具の減価償却として、7億3,157万9千円とした。

○ 営業外費用

①支払利息は、前年度比8.65%減の2億6,609万2千円とした。

○ 特別損失

①特別損失は、過年度損益修正損として、32万4千円とした。

(2) 4条予算（資本的支出）

○ 建設改良費

①公共下水道建設事業費は、前年度比53.67%増の8億1,845万5千円とした。

【主な支出】

・江川第2処理分区（西口）	}	等	工事請負費	7億1,860万円
・柳瀬第9污水管渠築造工事				
・私道対策事業				
・舗装本復旧工事				
・新河岸川第一ノ一号(尺地掘)雨水幹線築造工事				
・別所雨水幹線築造工事				
・別所雨水ポンプ場施設工事委託				2,100万円
				(平成28年度継続工事委託 1億4,600万円)
・委託料等				7,885万円5千円

②特定環境保全公共下水道建設事業費は、前年度比8.97%増の4億4,336万3千円とした。

【主な支出】

・新河岸第14污水管渠築造工事	}	等	工事請負費	4億630万円
・舗装本復旧工事				
・委託料等				
				3,706万円3千円

③流域下水道事業費は、前年度比30.45%増の8,867万8千円とした。

【主な支出】

・荒川右岸流域下水道事業建設負担金	8,867万8千円
-------------------	-----------

○償還金

①企業債償還金は、前年度比2.2%増の8億1,972万5千円とした。

・公共下水道債元金償還金	5億7,309万1千円
・流域下水道債元金償還金	9,824万2千円
・特定環境保全公共下水道債元金償還金	1億2,697万円
・資本費平準化債元金償還金	2,142万2千円

企業債償還（元金）の状況は、平成27年度末時点において86億4,008万9千円の未償還残高となる見込。

■平成27年度下水道事業会計予算（3条 税込）

収 入 (単位：千円)

款 項	目	予 定 額	対前年度増減額
下水道事業収益		1,825,316	△ 16,594
営業収益		1,300,552	18,707
	下水道使用料	977,666	12,253
	他会計負担金	322,761	8,279
	その他の営業収益	125	△ 1,825
営業外収益		524,763	△ 35,301
	受取利息	62	△ 218
	他会計補助金	280,000	0
	長期前受金戻入	225,005	△ 46,841
	雑収益	1,776	0
	消費税及び地方消費税還付金	17,920	11,758
特別利益		1	0
	過年度損益修正益	1	0

支 出 (単位：千円)

款 項	目	予 定 額	対前年度増減額
下水道事業費用		1,599,903	51,662
営業費用		1,332,487	96,439
	管渠費	520,376	12,138
	業務費	49,005	1,887
	総係費	31,249	△ 7,126
	水洗化促進費	278	△ 22
	減価償却費	731,579	89,562
営業外費用		266,592	△ 25,181
	支払利息	266,092	△ 25,181
	雑支出	500	0
特別損失		324	△ 19,596
	過年度損益修正損	324	24
	その他特別損失	0	△ 19,620
予備費		500	0
	予備費	500	0

■平成27年度下水道事業会計予算（4条 税込）

(単位：千円)

款 項	目	予 定 額	対前年度増減額
資 本 的 収 入		1,584,206	438,523
企 業 債		920,800	240,400
	企 業 債	920,800	240,400
国庫(県)補助金		396,400	102,400
	国庫(県)補助金	396,400	102,400
負 担 金		267,006	95,723
	負 担 金	267,006	95,723

(単位：千円)

款 項	目	予 定 額	対前年度増減額
資 本 的 支 出		2,264,711	357,510
建 設 改 良 費		1,443,986	339,869
	建 設 総 係 費	93,490	△ 3,193
	公 共 下 水 道 建 設 事 業 費	818,455	285,864
	特 定 環 境 保 全 公 共 下 水 道 建 設 事 業 費	443,363	36,500
	流 域 下 水 道 事 業 費	88,678	20,698
償 還 金		819,725	17,641
	企 業 債 償 還 金	819,725	17,641
予 備 費		1,000	0
	予 備 費	1,000	0